



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社
 コード番号 7238 URL <http://www.akebono-brake.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 信元 久隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荘原 健 TEL 048-560-1501
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|--------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 200,495 | 1.9 | 6,507 | 303.9 | 4,835 | — | 2,259 | — |
| 29年3月期第3四半期 | 196,734 | △7.0 | 1,611 | — | △1,028 | — | △2,760 | — |

（注）包括利益 30年3月期第3四半期 5,104百万円（－％） 29年3月期第3四半期 △6,310百万円（－％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 16.96 | 16.92 |
| 29年3月期第3四半期 | △20.73 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 201,737 | 33,869 | 14.5 |
| 29年3月期 | 201,790 | 29,380 | 12.4 |

（参考）自己資本 30年3月期第3四半期 29,303百万円 29年3月期 25,065百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年3月期（予想） | — | — | — | — | — |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定とさせていただきます。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 250,600 | △5.8 | 8,000 | 89.4 | 5,800 | 661.9 | 3,000 | 748.2 | 22.52 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期3Q | 135,992,343株 | 29年3月期 | 135,992,343株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期3Q | 2,784,393株 | 29年3月期 | 2,809,499株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期3Q | 133,197,990株 | 29年3月期3Q | 133,134,870株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | |
| (1) 経営成績に関する説明..... | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明..... | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明..... | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結貸借対照表関係) | 10 |
| (セグメント情報) | 10 |
| 3. その他 | |
| 継続企業の前提に関する重要事象等..... | 11 |
| 4. 補足情報 | |
| 平成30年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、前年同期と比べ増収増益となりました。日本やアジアにおいてSUV(スポーツ用多目的車)を中心とした新型自動車用の製品の売上は引き続き増加傾向にあり、欧州においても高性能量販車用製品やグローバルプラットフォーム(全世界での車台共通化)車用製品の売上が増加しました。北米では、生産負荷低減を目的とした生産移管や一部製品の生産終了による売上減はありましたが、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,005億円(前年同期比1.9%増)となりました。利益面では、アジアを中心に労務費上昇の影響はあったものの、受注好調による増益効果のほか、北米では収益改善に向けた各施策の効果があり、営業利益65億円(前年同期比4.0倍)、経常利益48億円(前年同期は経常損失10億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失28億円)と前年同期に比べ大幅な増益となりました。

地域セグメントごとの業績は次のとおりです。

① 日本

当第3四半期連結累計期間の自動車販売は新型車を中心に引き続き好調に推移しました。当社グループにおいても、SUVを中心とした新型車用の製品の受注増のほか、フォークリフト用や鉄道車両挙動監視装置といった産業機械・鉄道車両用製品の売上が増加しました。一方、中近東向け小型トラックの販売不振、また完成車メーカーの検査問題に起因した生産停止による受注減などにより、売上高は610億円(前年同期比0.9%増)と、微増にとどまりました。利益面では、前年同期と比べ鋼材など材料市況の高騰や業績連動による賞与などの人件費の増加、電動ブレーキや環境対応型摩擦材といった次世代に向けた研究開発関連費用増加などの影響で、営業利益は22億円(前年同期比29.3%減)となりました。

② 北米

米国の自動車販売は、前年同期と比べ乗用車の生産減により全体では僅かに減少しているものの、ピックアップトラックやSUVの需要は依然として好調に推移しました。当社グループでもピックアップトラック、SUV用製品の受注好調や販売価格の適正化による売上高の増加があったものの、一部の米系完成車メーカーが乗用車生産から撤退したことによる売上高の減少、補修品市場の一時的な在庫調整の影響などにより、売上高は1,079億円(前年同期比5.7%減)となりました。

北米事業では、以前から取り組んでいる収益改善のための各施策が効果を上げ、生産混乱時には3直7日稼働を強いられてきた生産ラインも、第1四半期からは最も負荷の高いラインでも3直6日稼働体制を達成するなど、生産はほぼ正常化しました。

利益面では、前年同期と比べ、北米事業立て直しのための外部コンサルタント費用などの一時費用がなくなったことや、緊急輸送費の大幅削減、残業や休日出勤削減による労務費の圧縮などもあり、営業利益は16億円(前年同期は営業損失39億円)と大幅に改善しました。

③ 欧州

補修用摩擦材ビジネスの売上は減少しましたが、高性能量販車用製品やグローバルプラットフォーム車用製品の売上増により、売上高は104億円(前年同期比27.3%増)となりました。利益面では、スロバキア工場での本格増産に向け、生産ライン増設に伴う減価償却費の負担や人員増加による労務費の増加、生産合理化の遅れなどにより13億円の営業損失(前年同期は営業損失9億円)となりました。

現在日本から生産性改善、生産管理強化のための人財を派遣し、本格増産、利益の安定化に向けた基盤構築に取り組んでいます。

④ 中国

小型自動車の減税幅縮小の影響もあり市場の伸びに陰りがみられたものの、依然としてSUVの需要は高い状況が続いております。当社グループにおいてもSUV用製品の受注好調が続き、売上高は164億円(前年同期比15.4%増)となりました。利益面では、労務費の上昇に加え、減価償却費や環境規制対応コストが増加しましたが、摩擦材製品の受注が好調なこともあり、営業利益は20億円(前年同期比10.1%増)となりました。

⑤ タイ

国内向け小型車用製品や輸出向け小型車用製品の受注が拡大し、売上高は58億円(前年同期比24.4%増)となりました。利益面では、労務費の上昇や昨年度操業を開始した鋳造工場の立ち上げに関わる費用増の影響により、営業利益は4億円(前年同期比10.3%増)にとどまりました。

⑥ インドネシア

インドネシアの自動車市場全体が堅調に推移していることを背景に、当社グループの製品が採用されている新型MPV（多目的乗用車）の需要が好調であること、加えて欧州向けグローバルプラットフォーム車用製品やベトナムでの自動二輪車用製品の受注増などにより、売上高は138億円（前年同期比15.9%増）となりました。利益面でも、労務費増の影響はあるものの、昨年度に発生した新規ビジネスの立ち上げにともなう一時費用がなくなり、生産合理化や受注増による増益効果もあって、営業利益は14億円（前年同期比37.7%増）と前年同期を大きく上回りました。

(注) 当第3四半期連結累計期間とは

- (1) 北米・中国・タイ・インドネシア：平成29年1月～平成29年9月
 (2) 日本・欧州：平成29年4月～平成29年12月 となります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は2,017億円と前連結会計年度末比1億円の減少となりました。

流動資産は734億円と前連結会計年度末比23億円の減少となりました。主な要因は、借入金の返済などにより現金及び預金が15億円減少したことや、たな卸資産が6億円減少したことによるものです。固定資産は1,283億円と前連結会計年度末比23億円の増加となりました。主な要因は、減価償却費や為替の影響などにより有形固定資産が3億円減少した一方で、株価の影響により投資有価証券が22億円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,679億円と前連結会計年度末比45億円の減少となりました。

流動負債は845億円と前連結会計年度末比97億円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が34億円減少したことや、1年内返済予定の長期借入金が37億円減少したことによるものです。固定負債は834億円と前連結会計年度末比51億円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が36億円増加したことや、リース債務が12億円増加したことによるものです。なお、有利子負債残高1,160億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は1,019億円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は339億円と前連結会計年度末比45億円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益23億円を計上したことにより利益剰余金が増加したことや、株価の影響によりその他有価証券評価差額金が15億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比15億円減少の141億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、112億円の収入（前年同期比72億円の収入増加）となりました。主な要因は、運転資本の増減により資金が10億円減少したことや法人税等の支払額25億円があった一方で、税金等調整前四半期純利益48億円や減価償却費94億円などにより、資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、76億円の支出（前年同期比31億円の支出減少）となりました。主な要因は、日米欧を中心とした設備投資により有形固定資産の取得による支出が75億円となり、資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、53億円の支出（前年同期は36億円の収入）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入147億円やセール・アンド・リースバックによる収入21億円があった一方で、短期借入金の純減額40億円や長期借入金の返済による支出144億円及び非支配株主への配当金の支払額31億円などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日に公表した連結通期業績予想（地域別セグメントの売上高、営業利益の予測）数値と比較して、各地域の当第3四半期連結累計期間の進捗は、以下の通り計画に沿ったものとなっております。

<地域別セグメントの進捗>

(単位：億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|------|----------------|------------------|------------|----------------|------------------|------------|
| | 平成30年 3月期予想 | 当第3四半期 連結累計期間 | 進捗率 (%) | 平成30年 3月期予想 | 当第3四半期 連結累計期間 | 進捗率 (%) |
| 日本 | 765 | 610 | 80 | 30 | 22 | 74 |
| 北米 | 1,382 | 1,079 | 78 | 20 | 16 | 80 |
| 欧州 | 131 | 104 | 79 | △14 | △13 | — |
| アジア | 439 | 359 | 82 | 40 | 38 | 94 |
| 連結消去 | △211 | △148 | — | 4 | 2 | — |
| 連結合計 | 2,506 | 2,005 | 80 | 80 | 65 | 81 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,564 | 14,092 |
| 受取手形及び売掛金 | 34,045 | 35,153 |
| 商品及び製品 | 4,165 | 4,391 |
| 仕掛品 | 1,923 | 2,196 |
| 原材料及び貯蔵品 | 14,301 | 13,228 |
| 繰延税金資産 | 978 | 531 |
| その他 | 4,908 | 3,970 |
| 貸倒引当金 | △123 | △138 |
| 流動資産合計 | 75,761 | 73,422 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 60,269 | 60,529 |
| 減価償却累計額 | △33,813 | △34,916 |
| 建物及び構築物(純額) | 26,457 | 25,613 |
| 機械装置及び運搬具 | 173,860 | 174,543 |
| 減価償却累計額 | △126,621 | △128,764 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 47,239 | 45,779 |
| 土地 | 21,269 | 21,257 |
| 建設仮勘定 | 7,419 | 9,935 |
| その他 | 21,972 | 21,843 |
| 減価償却累計額 | △19,346 | △19,689 |
| その他(純額) | 2,626 | 2,154 |
| 有形固定資産合計 | 105,010 | 104,737 |
| 無形固定資産 | 2,092 | 2,125 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 12,902 | 15,085 |
| 退職給付に係る資産 | 3,936 | 4,429 |
| 繰延税金資産 | 801 | 825 |
| その他 | 1,298 | 1,124 |
| 貸倒引当金 | △11 | △11 |
| 投資その他の資産合計 | 18,927 | 21,453 |
| 固定資産合計 | 126,029 | 128,315 |
| 資産合計 | 201,790 | 201,737 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 29,330 | 28,902 |
| 短期借入金 | 22,580 | 19,149 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 24,355 | 20,649 |
| 未払法人税等 | 542 | 573 |
| 賞与引当金 | 1,778 | 475 |
| 設備関係支払手形 | 1,875 | 2,510 |
| その他 | 13,717 | 12,229 |
| 流動負債合計 | 94,176 | 84,488 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 66,436 | 70,007 |
| 役員退職慰労引当金 | 31 | 31 |
| 退職給付に係る負債 | 2,233 | 2,300 |
| 繰延税金負債 | 1,397 | 1,759 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 3,155 | 3,155 |
| その他 | 4,982 | 6,127 |
| 固定負債合計 | 78,234 | 83,380 |
| 負債合計 | 172,410 | 167,867 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 19,939 | 19,939 |
| 資本剰余金 | 12,935 | — |
| 利益剰余金 | △19,020 | △3,833 |
| 自己株式 | △1,878 | △1,860 |
| 株主資本合計 | 11,977 | 14,246 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,584 | 6,102 |
| 土地再評価差額金 | 6,741 | 6,741 |
| 為替換算調整勘定 | 1,541 | 1,819 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 222 | 395 |
| その他の包括利益累計額合計 | 13,088 | 15,057 |
| 新株予約権 | 174 | 161 |
| 非支配株主持分 | 4,140 | 4,405 |
| 純資産合計 | 29,380 | 33,869 |
| 負債純資産合計 | 201,790 | 201,737 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 196,734 | 200,495 |
| 売上原価 | 178,554 | 177,892 |
| 売上総利益 | 18,180 | 22,603 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,569 | 16,097 |
| 営業利益 | 1,611 | 6,507 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 88 | 65 |
| 受取配当金 | 276 | 281 |
| 持分法による投資利益 | — | 4 |
| 為替差益 | — | 196 |
| その他 | 120 | 190 |
| 営業外収益合計 | 483 | 738 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,047 | 1,401 |
| 持分法による投資損失 | 21 | — |
| 為替差損 | 951 | — |
| 製品補償費 | 290 | 760 |
| その他 | 813 | 248 |
| 営業外費用合計 | 3,122 | 2,410 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △1,028 | 4,835 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 47 | 64 |
| 補助金収入 | 43 | 42 |
| 事業構造改善引当金戻入額 | 201 | — |
| 特別利益合計 | 291 | 106 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 250 | 145 |
| 特別損失合計 | 250 | 145 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △987 | 4,796 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 962 | 1,529 |
| 法人税等調整額 | 122 | 49 |
| 法人税等合計 | 1,083 | 1,578 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △2,070 | 3,218 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 690 | 959 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △2,760 | 2,259 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △2,070 | 3,218 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,713 | 1,519 |
| 土地再評価差額金 | — | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △6,157 | 190 |
| 退職給付に係る調整額 | 204 | 178 |
| その他の包括利益合計 | △4,240 | 1,886 |
| 四半期包括利益 | △6,310 | 5,104 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △6,113 | 4,228 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △197 | 876 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △987 | 4,796 |
| 減価償却費 | 8,654 | 9,354 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △58 | △0 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △131 | △161 |
| 受取利息及び受取配当金 | △364 | △347 |
| 支払利息 | 1,047 | 1,401 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 21 | △4 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 203 | 81 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △4,013 | △1,223 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △2,168 | 505 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 2,305 | △329 |
| その他 | 1,335 | 315 |
| 小計 | 5,846 | 14,387 |
| 利息及び配当金の受取額 | 364 | 347 |
| 利息の支払額 | △1,011 | △1,362 |
| 法人税等の支払額 | △2,024 | △2,536 |
| 法人税等の還付額 | 887 | 385 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,061 | 11,222 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △10,764 | △7,523 |
| 国庫補助金等による収入 | — | 23 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 297 | 135 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △14 | △14 |
| その他 | △254 | △257 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,735 | △7,637 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 3,846 | △4,026 |
| 長期借入れによる収入 | 13,500 | 14,659 |
| 長期借入金の返済による支出 | △13,454 | △14,374 |
| 配当金の支払額 | △3 | △2 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △770 | △3,055 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 871 | 2,075 |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | 0 | △0 |
| その他 | △430 | △545 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,559 | △5,269 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △718 | 211 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △3,834 | △1,473 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 20,403 | 15,564 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 16,569 | 14,092 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社及び連結子会社が過去に製造・販売したパーキングブレーキのうち一部の品番の製品に関連し、自動車メーカーにおいて当該製品を組み込んだ自動車で品質問題が発生しております。これにより、当社及び連結子会社において補修費用が発生する可能性があります。現時点では、四半期連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることが困難であるため当該事象に係る費用は計上していません。

今後、当該品質問題に起因して費用を負担する可能性もありますが、現在のところその影響や発生時期を合理的に見積もることも困難であり、将来の連結財務諸表に与える影響は明らかではありませんが、判明次第、公表いたします。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------|---------|-------|--------|-------|------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北米 | 欧州 | 中国 | タイ | インド ネシア | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 52,017 | 109,951 | 7,079 | 13,882 | 4,470 | 9,334 | 196,734 | — | 196,734 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 8,443 | 4,389 | 1,083 | 301 | 220 | 2,574 | 17,011 | △17,011 | — |
| 計 | 60,460 | 114,340 | 8,163 | 14,183 | 4,690 | 11,909 | 213,745 | △17,011 | 196,734 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 3,118 | △3,917 | △936 | 1,816 | 325 | 1,027 | 1,432 | 179 | 1,611 |

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------|---------|--------|--------|-------|------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北米 | 欧州 | 中国 | タイ | インド ネシア | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 54,186 | 104,433 | 9,119 | 16,062 | 5,504 | 11,190 | 200,495 | — | 200,495 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 6,839 | 3,428 | 1,269 | 307 | 331 | 2,616 | 14,790 | △14,790 | — |
| 計 | 61,026 | 107,861 | 10,389 | 16,369 | 5,835 | 13,806 | 215,285 | △14,790 | 200,495 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 2,205 | 1,608 | △1,259 | 2,000 | 358 | 1,414 | 6,326 | 181 | 6,507 |

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

平成26年度から発生した北米事業での生産混乱により、平成27年度に北米事業は2期連続で営業損失を計上し、かつ多額の減損損失を計上したことから、連結全体の財政状態が悪化しました。手元流動性や自己資本比率は十分には回復していない状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

当該重要事象等を解消、改善するために、全社を挙げて、北米事業の改革、黒字化定着のための諸施策を実行した結果、北米事業の今期の業績は黒字回復の見込みです。また、メインバンクを中心に取引銀行各行とは緊密な関係を維持しており、今後の継続的な支援の方針についても合意をいただき、必要な新規の長期資金融資も受けております。

これらの状況を踏まえ、「継続企業の前提に関する重要な不確実性」は認められないと判断しております。

平成30年2月7日

平成30年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要

1. 連結業績

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (H28.4~H28.12) | | 当第3四半期連結累計期間 (H29.4~H29.12) | | 増減 | 増減率 |
|------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------------------|------------------------|---------------|---------------|
| 売上高 | (100.0) | 196,734 | (100.0) | 200,495 | 3,761 | 1.9% |
| 売上総利益 | (9.2) | 18,180 | (11.3) | 22,603 | 4,423 | 24.3% |
| 営業利益 | (0.8) | 1,611 | (3.2) | 6,507 | 4,896 | 303.9% |
| 経常利益 | (-) | △1,028 | (2.4) | 4,835 | 5,862 | - |
| 特別損益 | | 41 | | △39 | △80 | - |
| 税前四半期純利益 | (-) | △987 | (2.4) | 4,796 | 5,782 | - |
| 法人税等・調整額 | | 1,083 | | 1,578 | 495 | 45.6% |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | | 690 | | 959 | 269 | 39.0% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | (-) | △2,760 | (1.1) | 2,259 | 5,019 | - |
| 総資産 | (前期末) = 平成29年3月期 | 201,790 | (当期末) | 201,737 | △53 | △0.0% |
| 純資産 | (前期末) | 29,380 | (当期末) | 33,869 | 4,489 | 15.3% |
| 自己資本 | (前期末) | 25,065 | (当期末) | 29,303 | 4,238 | 16.9% |
| 自己資本比率 | (前期末) | 12.4% | (当期末) | 14.5% | 2.1% | |
| 現預金 | (前期末) | 15,564 | (当期末) | 14,092 | △1,473 | |
| 有利子負債 | (前期末) | 118,053 | (当期末) | 115,987 | △2,066 | |
| ネット有利子負債 | (前期末) | 102,489 | (当期末) | 101,896 | △593 | |
| ネットD/Eレシオ | (前期末) | 4.09倍 | (当期末) | 3.48倍 | △0.61倍 | |
| 営業CF | | 4,061 | | 11,222 | 7,161 | |
| (内数：減価償却費) | | (8,654) | | (9,354) | (700) | |
| 投資CF | | △10,735 | | △7,637 | 3,099 | |
| (内数：設備投資) | | (△11,081) | | (△7,859) | (3,222) | |
| フリーCF | | △6,674 | | 3,585 | 10,259 | |
| 財務CF | | 3,559 | | △5,269 | △8,827 | |
| 連結子会社数 | (前期末) | 24社 | (当期末) | 23社 | △1社 | |
| 持分法適用会社数 | (前期末) | 1社 | (当期末) | 1社 | - | |
| 期中平均レート | USD | USD 109.1円 | USD | USD 111.8円 | 2.7円 | |
| | EUR / CNY | EUR 118.4円 / CNY 16.5円 | EUR | EUR 129.6円 / CNY 16.5円 | 11.2円 / △0.0円 | |
| | THB / IDR | THB 3.1円 / IDR 0.008円 | THB | THB 3.3円 / IDR 0.008円 | 0.2円 / 0.000円 | |

2. 地域別業績

(単位：百万円)

| | | 前第3四半期連結累計期間 (H28.4~H28.12) | | 当第3四半期連結累計期間 (H29.4~H29.12) | | 増減 | 増減率 | 為替換算 影響 |
|------|--------|--------------------------------|---------|--------------------------------|---------|--------|--------|------------|
| 売上高 | 日本 | | 60,460 | | 61,026 | 565 | 0.9% | - |
| | 北米 | | 114,340 | | 107,861 | △6,479 | △5.7% | 2,663 |
| | 欧州 | | 8,163 | | 10,389 | 2,226 | 27.3% | 882 |
| | 中国 | | 14,183 | | 16,369 | 2,186 | 15.4% | △50 |
| | タイ | | 4,690 | | 5,835 | 1,144 | 24.4% | 338 |
| | インドネシア | | 11,909 | | 13,806 | 1,898 | 15.9% | 329 |
| | 連結消去 | | △17,011 | | △14,790 | 2,221 | - | - |
| | 連結 | | 196,734 | | 200,495 | 3,761 | 1.9% | 4,162 |
| 営業利益 | 日本 | 5.2% | 3,118 | 3.6% | 2,205 | △913 | △29.3% | - |
| | 北米 | - | △3,917 | 1.5% | 1,608 | 5,525 | - | 40 |
| | 欧州 | - | △936 | - | △1,259 | △323 | - | △109 |
| | 中国 | 12.8% | 1,816 | 12.2% | 2,000 | 184 | 10.1% | △6 |
| | タイ | 6.9% | 325 | 6.1% | 358 | 34 | 10.3% | 21 |
| | インドネシア | 8.6% | 1,027 | 10.2% | 1,414 | 387 | 37.7% | 34 |
| | 連結消去 | - | 179 | - | 181 | 2 | 1.4% | - |
| | 連結 | 0.8% | 1,611 | 3.2% | 6,507 | 4,896 | 303.9% | △21 |